

## 全校朝礼

- ・ 8月24日(火)に開会された『東京パラリンピック』は、2日前の9月5日(日)に閉会しました。皆さん、どう感じられたでしょうか。
- ・ 以前に、「オリンピックの歴史について大学で学んで興味を持った」というお話をしましたが、その当時は、まったくパラリンピックについては知らなかったと思います。
- ・ パラリンピックが始まったのは、前回の東京オリンピック(1964年)が開催された4年前のローマ大会(1960年)になります。
- ・ ということは、57年前の『東京大会』ではパラリンピックは開催されていたということになりますが、それほど注目を集めることはなく、どちらかというと、当初はリハビリテーションのためのスポーツであったようです。
- ・ また、現在のようにオリンピックと同じ場所で、オリンピック直後に大会が行われるようになったのは、1988年のソウル大会からということです。
- ・ しかし、今では、もう一つの(Parallel)のオリンピック(Olympic)と言われるのにふさわしい技術力や精神力の高さに驚くばかりです。日本選手の活躍はもちろんですが、
- ・ 一例をあげると、今回のパラリンピックの走り幅跳びで金メダルを獲得した男子選手(ドイツ)は、8m18で3連覇を果たし、金メダルの目標は達成したものの、東京オリンピックの優勝記録の8m41を超えられなことを悔しく思ったということがありました。(パラ世界記録 8m62)
- ・ また、卓球ではオリンピックにも出場している女子選手(ポーランド)がいましたが、この選手は団体戦では金メダルを獲得していますが、個人戦では2回戦で敗戦しているという高いレベルでの大会となっています。
- ・ 「自分自身に残された部分を最大限に生かす」という言葉をよく聞きましたが、何か一つ補助する器具を付けたり、ルールを少し変更したり、人の補助を借りたりすることで可能性は最大限に延びるということを実感した大会がありました。
- ・ 競技をする上で工夫をすることで、健常者(オリンピック選手)と同じようにスポーツを楽しめ、それ以上のパフォーマンスができるることは素晴らしいことだと思います。
- ・ 日本では、障がいのある人が暮らしやすい状況にまだまだなっていないと言われています。君たちには、「障がいのあるなしに関わらず、皆が生活しやすい社会をつくっていく」ということを考える良いきっかけになればと感じています。